

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	23	事業名	狂犬病予防費		事業の性質別	義務的経費(一部裁量的経費)	区分		
予算事項名	大事項	狂犬病予防費			中事項	狂犬病予防費			
事業開始年度	昭和 23 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(狂犬病予防法) <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市狂犬病予防法施行細則)					
								部課名	保健所生活衛生課
								電話番号	32-1524

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 ・狂犬病予防法等の関係法令に基づき、狂犬病の発生予防や蔓延を防止し、またこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上および公共福祉の増進を図る。</p> <p>【必要性】 ・法令に基づく業務である。</p>
内容	<p>・予防注射実施計画の作成 ・犬の登録時に鑑札交付 ・予防注射済票交付の委託 ・各種届の受理 ・未登録、未注射犬に対する啓発および指導 ・捕獲抑留犬の公示 ・HP等における広報</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		3,367	3,070	3,380	3,071	3,691	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		3,367	3,070	3,380	3,071	3,691	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.51 3,829	人工 0.51 3,681	人工 0.51 3,718	人工 0.51 3,718	人工 0.51 3,831	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.22 0	人工 0.22 0	人工 0.22 0	人工 0.22 0	人工 0.22 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	3,829	3,681	3,718	3,718	3,831	0
総事業費計(A+B)		7,196	6,751	7,098	6,789	7,522	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
犬登録頭数	頭	15,568	15,453	15,320	
狂犬病予防注射件数	頭	9,188	8,813	8,526	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	狂犬病予防注射件数
------	-----------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	狂犬病予防注射を実施する事により、狂犬病の拡大が防がれている。
--------	---------------------------------

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	・犬の鑑札と狂犬病予防注射済票 交付事務は公益社団法人北海道獣 医師会に委託している。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より増加する可能性	
				受益者負担の適正度	適正	
成果・有効性	成果の達成状況	達成が不十分	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	・外部委託を実施済みである
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後の改善は難しい)	
評価結果から明らかになった課題事項など						

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) ・現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) ・犬の新規登録頭数は平成19年度をピークに減少に転じ、登録頭数も平成25年度をピークに減少しており、今後も登録頭数は減少すると考えられる。しかし減少の割合はわずかであることから、経費はほぼ現行と同様の状態が続くと予想される。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	・道内各市町村においても同じ業務を実施しており、委託先も公益社団法人北海道獣医師会となっている。
----------------------------	--